

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
コロニー児童デイサービス まえだ		令和7年3月24日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・利用人数が多い場合には十分なスペースが確保出来ない事もあるので、グループを分けたりしている。	・子ども達が安全に過ごせるように、職員の立ち位置を意識し、事故のないように務めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・毎月の利用予定人数を確認して、職員の配置を適正に配慮し、勤務表を作成しています。	・急な職員の休みで欠員が出た時には近隣の事業所へ応援調整を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			・トイレの段差やスペースは介助者が入ると狭く感じます。手洗いの水道の蛇口も子ども達が使いやすいように改善していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・休みたい時や、静かに過ごせるように使える半個室のスペースがあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・職員で話し合える時間を設け、内容を議論、検討しながら周知しています。	・保護者より頂いた意見をもとに、事業所で出来る事をしっかりと議論し今後の改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎月、事業所のミーティングを行い意見交換を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		・第三者評価は実施していません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	・事業所にて動画研修を実施しました。事業所で出来る事を支援で活かせるように取り組んでいます。	・法人全体で行える研修を実施出来るような内容を検討したいと思います。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・毎月、常勤で話し合いを行いプログラムを考え実施しております。決まったプログラムをコドモンでお知らせしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・毎月、支援会議を行い支援内容の検討、確認を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画書はいつでも手に取れるように工夫しています。内容の確認もしながら支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・保護者から日々の様子を面談で聞き取りを行いながら、本人の状況を観察するように心がけています。	・本人の状況を1人で把握するのではなく、職員で意見交換しながら対応していきたいと思っています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・担当職員で話し合いをし、別の職員へ内容や意見などの確認等を行いながら作成しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・子どもの特性に配慮しながらみんなで楽しめる内容を考えています。	・年齢や発達段階に合わせた（グループ）活動を今後は取り入れていきたいと思っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・勉強会や制作などは発達段階や個別の課題に合わせて対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・毎日、ミーティングを行い、申し送りや役割分担をチームリーダーが中心に連携しています。	・細かい部分や家族からの連携なども職員間で連携しながら対応していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・その日に対応出来ない場合には翌日にミーティングで申し送りを行っています。	・常に情報共有出来るように職員で連携出来るように意識していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・こどもの状況を把握し、支援内容に沿った支援を実施し、個別記録へ記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・6か月に1回は職員間で会議を持ち、意見交換や見直し等の話し合いを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・活動の中で選択する機会を作り、自分で選べるように工夫を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・支援計画書の作成者や、こどもの状況を把握している職員で参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		・先生との引継ぎで確認を行い、調整を行っています。また学校からのお知らせ等を把握し先生や保護者との連携を行っています。	・担当職員だけではなく、職員間で連携が出来る仕組み作りを行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・発達支援事業所との連携を細かく行っています。	・保護者にも安心して利用できるように事業所間で連携を行い、今後も対応させていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	・移行する時には会議に参加し、情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		・児童館の活用を実施し、交流に繋がれるようにしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	・協議会が開かれた時には参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎時にはその日にあった状況を保護者へ伝え引継ぎを行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・保護者会などを開催し、情報提供出来る機会を作りたいと思っています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			・内容の変更等がある場合には適切に説明を行い対応させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・保護者面談を行い、事業所で出来る事や取り組んでいく事の説明を行って説明をしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・面談時には、子どものライフステージをイメージ出来るようなアドバイスを心がけています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		・会を開催する時には保護者同士の交流が出来るように職員は間に入りながら関係性を築けるように工夫しています。	・保護者やきょうだい同士で交流出来る会を今後も計画していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情受付箱を目に届く場所へ設置しました。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			・コドモンを活用したり、広報誌での発信を行います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3		・まずは地域の方々との関係性を築けるように努めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・避難訓練（火災・地震）を年2回実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	・てんかん発作の発作時の様子や記録などを学校、保護者と連携を行いながら対応しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・該当する児童はいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画の作成、実施を行い職員間で情報共有を行いました。	・計画書の見直しを行い、必要に応じて改善していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・職員間でミーティングを行い、対策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・年に1回、事業所にて動画研修や事例検討をし、再認識を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				